

【落合地区】◆各会場で寄せられた主な意見とそれに対する市の見解

問	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の「新しい図書館についての地域説明会」の案内についても、「図書館」という言葉が強くてくるので、興味のない人には「交流の場」「情報発信の場」の説明会だということが分かりません。 ・ 「図書館」という名称は古くさく、「図書館」という名称が前面にでると市民の関心を引かないのではないのでしょうか。
答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「図書館」の名称については、現在愛称募集を行っています。 ・ 図書の貸し出しだけでなく、情報を蓄積し発信していくことは図書館の使命と考えています。 ・ その情報をやり取りするための交流スペースなど、新しい図書館にはいろいろな使いみちがあります。 ・ そのためにも、ぜひ市民の皆様が図書館の役割が分かりやすく、そして親しみやすい「愛称」をつけていただきたいと思います。
問	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館で古い文化、例えば加子母や馬籠の資料が一箇所で見えること。文化を集めて知り学ぶことができるようにしてほしい。
答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の資料収集については、中央図書館に一極集中するのではなく、地域にあるべき資料は地域で保管し活用していただきます。 ・ 中央図書館では、そのような地域資料の目録を作成し、何処にどのようなものがあるか、ということが分かるようにしていきます。
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞折込みに政治に絡んだ文章がでてきて、図書館が政治問題と勘違いされています。これは、まずいことです。 ・ 政治を絡ませないで、純粋に図書館をアピールする広報があるといいと思います。 ・ 最後には立派な図書館を残してほしい。 ・ できることから徐々に進めて目標に向かって、長年かけても最後に完成させればいいと思います。 ・ リニア駅もできるので、中津川が文化の中心となっていき、中津川市をアピールし、図書館を中心に市を発展させてほしいです。
応答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館サービスなど、図書館のなかみについても説明する機会を持ちたいと考えています。 ・ この説明会は、署名活動、住民投票などにぶつめたかたちで実施しているものでなく、あくまでも事務レベルで図書館の全体像が説明できる段階になり、説明不足の反省にたち皆さんに知っていただくため地域ごとに説明会を行っているものです。 ・ 「なぜ市長は来ないのか」という声をいただいたこともありますが、政治的な部分については、市長が政治的な立場で動くことということで、切り離して考えています。
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館図書室を昭和20年代に利用していました。活字に飢えている時代でした。 ・ 中津川市もその後合併などいろいろあり、今は地域の公民館の図書は活用されていません。 ・ しかし、住民にとって一番身近なのは、地域主体の公民館・図書館です。大きな新図書館は要らないと思います。 ・ それが文化のバロメーターみたいに言われるのはおかしい。 ・ 中津川市は広いので、他の地域の人が中央図書館を利用できるか疑問に思います。 ・ 市民のための図書館は、建物が立派だということではないはずで、図書館ができて中がガラっとしてはいけません。基本的なところをもっと詰めて頂きたい。

<p>応答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回合併した旧町村には、図書館なり公民館図書室が全てあります。 ・ 地域事務所には図書室がありません。図書が充実しているとはとても言えません。 ・ 時間はかかりますが、地域事務所にも図書室を整備し、身近に身近な本がおけるようにしたいと考えています。 ・ 新図書館が拠点となり、配本サービスなどによって地域でも読みたい本がいつでも借りられるというかたちで考えています。 ・ 現在、中央図書館では、週二回の配本サービスを実施しており、総合事務所との間では多く利用されています。 ・ しかし、現図書館には配本サービスに対応できる専用のスペースがなく、駐車場の床で仕分け作業をしています。今後、サービスの回数と配本先を増やしたくても対応できないのが現状です。 ・ 新図書館では、22万冊の蔵書です。地域全体で42万冊を保有します。 ・ 現在でも、市民の皆さまには周知が足りませんが、落合の公民館に来れば、蛭川にある本、加子母にある本でも借りられるようになっています。 ・ 今後その配本回数を増やすことで、すぐ届くようになっていけると考えています。 ・ その采配などの基となるのが中央図書館です。 ・ 地区の要望に応じて、図書館司書が直接地域に出向いて本の相談などの市民サービスを提供することもできます。 ・ 中央図書館は、「本」、「情報」、「企画」などを通して地域全体の要としてサービスを実施する拠点となります。
<p>問</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物の外観は、格子があって、中山道ふうだと思いますが、図書館として市民はもとより、全国の人が「ここへ来たら中山道のことがすべて分かるよ」とか、特色をもったものを造ってもらおうといい。 ・ 人が集まればまちも発展すると思うので、そちらの方も考えてみてはと思います。
<p>答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山道なども、図書館サービスの一つのテーマとして考えていきたいと思います。 ・ 情報化社会の中での図書館の意義が問われるところだと思います。 ・ お話いただいた中山道など、積極的に全国に向け発信することを検討していきます。
<p>意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高山市の図書館は、玄関を入ると地域の観光パンフがならんでいる。 ・ 観光客も年間1万人程入るそうだ。1階のスペースを活用して観光客も利用する考えをもつことが必要だと思います。 ・ 旧中津川市、旧町村の図書館行政は、蛭川を除いて貧弱であった。だから、図書館が理解されないことはやむを得ない。 ・ 長崎県諫早市では、合併以前から地域ごとに立派な図書館がもともとあって図書館行政がしっかりしており、今では日に2,000冊の本が市内を歩きかうという。 ・ 中津川市立図書館の連携のイメージは、まだ貧困。地域図書室の整備、機能の充実を図ってほしい。 ・ 塩尻市立図書館には、かなり大きな配本スペースがあり、スムーズに作業ができていた。 ・ 図書館の建設中止が選挙の公約になるようなところは全国で中津川市だけではないかと思う。残念なことだ。 ・ 新しい図書館は、新しい時代に必要なので前向きに進めていただくよう要望します。
<p>応答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光パンフレットなどは、新しい所に置きます。図書館へ来れば市のことは、なんでも分かるようにしたいと考えています。

問	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館についての説明を、今回初めて聞きました。 ・ 今回の問題がおきる前に、図書館とはどういうものを市民に十分説明していなかったため、市民を二分するようなことになったと思います。 ・ 私は、初めは図書館建設には反対でしたが、いろいろと図書館のことを勉強していく中で、今では図書館を造りたいと思っています。 ・ 建設に反対している人は、図書館のなかみなどが分からないと思います。 ・ 広報やチラシだけではなく、もっと市民に分るように市は説明すべきだと思います。
答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回このように対話形式で直接説明させていただいていますが、今後も出前講座などで図書館の必要性など、図書館の果たすべき役割など、原点にあるものをしっかりと皆さんに説明していきたいと考えています。 ・ 広報やチラシなどでも説明してきましたが、それを見ていただけなかったことを反省し、今後も説明していきたいと考えています。